

科目区分	専門分野	単位数・時間数	0.5単位・15時間	開講時期	2年・前期
授業科目名	老年看護学Ⅰ 高齢者の健康障害時の看護（健康逸脱）			授業形態	講義
担当教員	有光里恵		実務経験	○看護師	
授業概要	高齢者の特徴をふまえ、高齢者に特有な疾患や症状、障害に応じた看護を学ぶ				
学習目的	高齢者の特徴をふまえ、高齢者の疾患及び症状や障害に応じた看護を理解する				
到達目標	1) 症状のアセスメントと看護の要点が理解できる 2) 身体疾患のある高齢者の看護が理解できる 3) 認知機能障害のある高齢者の看護が理解できる				
授業内容	1、2 症候のアセスメントと看護（発熱、浮腫、掻痒、脱水、嘔吐） 3、4 症候のアセスメントと看護（痛み、倦怠感、褥瘡） 5、6 身体疾患のある高齢者の看護（脳卒中、心不全、糖尿病） 7、8 身体疾患のある高齢者の看護（COPD、がん、パーキンソン病） 9、10 身体疾患のある高齢者の看護（インフルエンザ、肺炎、骨粗鬆症、骨折） 11、12 認知機能障害のある高齢者の看護（うつ、せん妄） 13、14 認知機能障害のある高齢者の看護（認知症） 15 認知症の看護 終講試験				
評価方法	筆記試験・課題レポート・出席状況・受講態度等により総合的に評価する。				
教科書	専門分野 母性看護学Ⅱ 母性看護学各論 第14版 第2刷 / 医学書院 2025				
参考図書 等					
備考					

科目区分	専門分野	単位数・時間数	0.5単位・15時間	開講時期	2年・前期
授業科目名	老年看護学Ⅰ（高齢者の健康障害時の看護（感覚器系眼・耳鼻咽喉・皮膚））			授業形態	講義
担当教員	岡田 由布子		実務経験	○看護師	
授業概要	加齢に伴う感覚機能障害とその看護（視覚の障害と患者の看護；聴覚・平衡覚の障害と患者の看護、皮膚疾患とその看護について学ぶ				
学習目的	加齢に伴う感覚機能障害と看護について理解できる				
到達目標	1) 高齢者の感覚機能の生理的特徴、加齢に伴う感覚機能の変化が理解できる 2) 加齢に伴う感覚機能の変化についてアセスメントが理解できる 3) コミュニケーションやかかわり方の原則が理解できる 4) 感覚器の疾患と看護が理解できる				
授業内容	1・2 高齢者の感覚機能の生理的特徴 3・4 加齢に伴う感覚機能の変化 5・6 加齢に伴う感覚機能の変化とアセスメント 7・8 高齢者とのコミュニケーションとかかわり方の原則 9・10 高齢者の皮膚とその付属器 11・12 高齢者の感覚器の疾患と看護 13・14 高齢者の生活行動に焦点を当てた看護（事例検討） 15 事例発表 終講試験				
評価方法	筆記試験				
教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 第9版 第6刷 医学書院 2025 系統看護学講座 専門分野 老年看護病態疾患論 第5版 第6刷 医学書院 2025				
参考図書 等					
備考					

科目区分	専門分野	単位数・時間数	1単位・30時間	開講時期	2年・前期
授業科目名	老年看護学Ⅱ（治療を必要とする高齢者の看護）			授業形態	講義
担当教員	藤野裕美		実務経験	○看護師	
授業概要	治療を受ける高齢者の健康状態を考慮し、状況に応じた看護を提供する方法を学ぶ				
学習目的	健康状態や受療状況に応じた看護について理解する				
到達目標	1) 検査、薬物療法を受ける高齢者の看護を理解する 2) 手術を受ける高齢者の看護を理解する 3) リハビリテーションを受ける高齢者の看護を理解する 4) 入院治療を受ける高齢者の看護、家族への配慮を理解する				
授業内容	1・2 治療を受ける高齢者の看護 3・4 治療を受ける高齢者の看護 5・6 薬物療法を受ける高齢者の看護 7・8 薬物療法を受ける高齢者の看護 9・10 手術を受ける高齢者の看護 11・12 術前の看護マネジメント 13・14 術後の看護マネジメント 15・16 高齢者に特徴的な手術 17・18 リハビリテーションを受ける高齢者の看護 19・20 リハビリテーションを必要とする高齢者 21・22 経過別リハビリテーション 23・24 入院治療を受ける高齢者の看護 25・26 入院に伴う環境の変化と高齢者への影響 27・28 家族への配慮、チーム医療 29・30 退院調整、退院支援 終講試験				
評価方法	筆記試験 100点				
教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 第9版 第6刷 医学書院 2025 系統看護学講座 専門分野 老年看護病態疾患論 第5版 第6刷 医学書院 2025				
参考図書 等					
備考					